

総合的な学習の時間指導案

学習者 附属小学校 6年1組 33名
 指導者 伊東大智

単元名 「大分ニラ」で大分市の味力を新発見・深発見！！ ～「大分ニラ」を使ったオリジナルレシピで大分市を盛り上げよう！！～（仮）

1. 単元の目標

大分市の特産品である「大分ニラ」の生産者と関わったり、その魅力を生かしたオリジナルレシピを考え発信したりする活動を通して、特産品の生産・販売・宣伝活動に関わる人々の努力や創意工夫、思いを理解し、郷土の食を継承・発展していくことの意義やそのために自分たちにできることについて考えるとともに、郷土を大切にしようとするができるようになる。

2. 単元の評価規準

単元の目標	大分市の特産品である「大分ニラ」の生産者と関わったり、その魅力を生かしたオリジナルレシピを考え発信したりする活動を通して、特産品の生産・販売・宣伝活動に関わる人々の努力や創意工夫、思いを理解し、郷土の食を継承・発展していくことの意義やそのために自分たちにできることについて考えるとともに、郷土を大切にしようとするができるようになる。		
単元名	単元の評価規準		
6-1 「大分ニラ」で大分市の味力を新発見・深発見！！ ～「大分ニラ」を使ったオリジナルレシピで大分市を盛り上げよう！！～	A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
	①知識 特産品の継承・発展に向けて努力している人々が活動を継続していることや、互いに連携して郷土の食の良さを見直したり発信したりすることが、持続可能で後世に残すことにつながることを理解している。（連携性） ②技能 「大分ニラ」の魅力伝えるために必要な事柄を選んだり、獲得した知識を関連付けて活用したりして、相手や目的、場面や状況に応じた表現方法を工夫している。 ③探究的な学習のよさ 「大分ニラ」のよさや、自分たちの生活との関わりやについての理解は、「大分ニラ」に携わる地域の人々の努力や創意工夫、思いについて探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。	①課題の設定 特産品の継承・発展に向けて努力している人々の思いや願いをふまえ、自分たちの関わり方についての課題を設定するとともに、解決方法や手順を考え見直しをもって計画を立てている。 ②情報の収集 「大分ニラ」の魅力や関わる人々の思いを理解したり、それらを広めていくための方法を考えたりするために必要な情報を、自分なりの目的に応じた方法・手段で収集している。 ③整理・分析 「大分ニラ」の魅力や関わる人々の思い、それらを広めていくための方法について、相手や目的、意図に応じて手段や方法を選択したり、必要な情報を比較したり分類したり関連付けたりしながら、具体的な内容や活動を決めている。 ④まとめ・表現 「大分ニラ」の魅力や関わる人々の思い、それらを広めていくための方法についての自分の考えを相手や目的、意図に応じて分かりやすくまとめ、適切な方法で表現している。 ⑤振り返り・知の更新 単元で学習したことを振り返り、次の学習や日常生活につなげて考え、生かそうとしている。	①主体性・協働性 課題解決に向けて、他者と協働して探究活動にすすんで取り組んでいる。 ②自己理解・他者理解 「大分ニラ」に関心をもち、自分らしさを発揮して探究活動に向き合い、異なる意見や他者の考えを受け入れながら取り組もうとしている。 ③社会参画・将来展望 「大分ニラ」の魅力や関わる人々の思いを理解したりそれを発信したりすることで、郷土の食の継承・発展に役立つことができると気付くとともに、地域のために継続してできることを考え行動している。

3. 指導と評価の計画（別紙）

4. 本時の指導（5／70）

<p>本時のねらい 今年度の総合的な学習の時間の学習材について、思考ツールを選択し、視点に沿って学習材の特徴を比較しながら考えることを通して、より自分たちの願いに合ったものを選ぼうとすることができる。</p> <p>評価規準 今年度の総合的な学習の時間の学習材について、視点に沿って学習材の特徴を比較しながら考え、選ぼうとしている。</p> <p>具体的な児童の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大分ニラ」は大分市を中心につくられていることや「夏ニラ」と「冬ニラ」があり、年間を通して味わえることはあまり知られていないだろうから、「大分の人に新発見・深発見」があるという視点に合うな。また、一年中売られているし安いという特徴は、学校や家で味わったり料理をつくってみたりできるということだから、他の学習材に比べて「何度も体験・体感し、専門家になることができる」という視点により合うな。 ・「不動尊一心寺」については正直知らなかったけど、八重桜の名所であり、「初夏のホテル」「夏の大花火」「秋の紅葉」など年中を通して工夫をして人を呼び込んでいるから、「大分市の人に新発見・新発見がある」だろう。でも、附属小学校から距離があるから「何度も体験・体感し、専門家になることができる」ためにはどうすればいいかな。 ・それぞれの視点に合うと思われる学習材は選ぶことができた。でも、その学習材自体に対する理解がまだ必要だと感じた。本物を味わったり見に行ったり、関わる人の思いを聞いたりしたいな。

時間	児童の活動	○指導及び・留意点 ◎評価（方法） ※支援を要する児童への手立て	準備物
5分	1. 本時の学習のめあてを立て、解決の見通しを持つ。	○これまでの学習を振り返り、今年度の総合的な学習に対する願いと学習材を選ぶための視点を確認することで、本時の学習のめあてと解決の見通しをもつことができるようにする。 ・本時では、学習材の決定に向けて、候補の中から班で1つにしぼり、その後全体で1つの学習材を選び抜くことを確認する。	
	<p>めあて 今年度の総合の学習材を決めよう。</p>		
25分	2. 班で話し合い、視点に沿って自分たちの願いに合う学習材を考える。	○視点に沿って学習材の特徴を比べたり条件付けたりすることで、より自分たちの願いに合う学習材をしぼっていくことができるようにする。 ・視点に沿って学習材を選び抜く話し合いに適した思考ツールを選ぶことができるようにする。	思考ツ

<p>10分</p>	<p>3. 全体で話し合い、視点に沿って自分たちの願いに合う学習材を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習材に条件を加えたり限定したりしてより視点に合うように条件付けをしている様子が見られたら、情報に条件付けしよりよいものにしていくよさを広げる。 ・学習材同士の特徴を比べてより視点に合うものを選びようとしている様子が見られたら、情報同士を比較し順位づけるよさを広げる。 ・学習材が1つにしぼることができた班は、全体での話し合いに向けてその学習材がなぜ願いの達成に適しているのか理由付けながら説明できるようにしておくことを助言する。 <p>◎今年度の総合的な学習の時間の学習材について、視点に沿って学習材の特徴を比較しながら考え、選びようとしている。 〈発言分析〉</p> <p>○班での話し合いをもとに、学習材の特徴を比べたり条件付けたりすることで、より自分たちの願いに合う学習材について考えるとともに、更なる情報収集の必要性を感じることができるようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班での話し合いを生かして、自分の立場を明確に持ち、視点により合っている学習材とその理由について話し合うことができるようになる。 ・これまで調べてきた方法がインターネットやパンフレットに偏っていたことに気付き、学習材そのものを体験・体感したり、学習材に関わる人の思いを知ったりする必要性に気付くことができるようになる。 	<p>ル（マトリクス・ピラミッドチャート、座標軸など）</p>
<p>5分</p>	<p>3. 本時の学習の振り返りをする。</p>	<p>○本時の話し合いを通して考えたこと、感じたことを記述するようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「現段階で適していると思う学習材とその理由」「さらに調べたいこと」という視点を入れて記述することができるようになる。 <p>◎今年度の総合的な学習の時間の学習材について、視点に沿って学習材の特徴を比較しながら考え、選びようとしている。 〈記録分析〉</p>	

